

# 行政サービスコスト

## 240億円

### 行政コスト計算書からわかること

☆市が行政サービスにかけたコストは約240億円です。このうち「物にかかるコスト」が約87億円（36%）と一番多く、次に「移転支出的なコスト」が続きます。「物にかかるコスト」では、クリーンセンターや保健センターなど、衛生費の施設管理委託料や土木費にあたる道路などの減価

償却費があります。また、「移転支出的なコスト」は、民生費である生活扶助、医療扶助など高齢者や障害者、児童にかかる給付サービス費に費やされています。こうした行政コストを計算することで事務事業のあり方や効率を見直し、より積極的な行政運営に取り組むことができます。

### 行政コスト（1年間の行政サービスにかかるコスト）

項目	総額	市民1人当たり
1 人にかかるコスト	64億1,712万円	78,566円
(1)人件費	58億4,789万円	71,597円
(2)退職給与引当金繰入等	5億6,923万円	6,969円
2 物にかかるコスト	86億6,742万円	106,117円
(1)物件費	39億8,250万円	48,758円
(2)維持補修費	1億9,371万円	2,372円
(3)減価償却費	44億9,121万円	54,987円
3 移転支出的なコスト	81億5,499万円	99,843円
(1)扶助費	29億673万円	35,587円
(2)補助費等	20億5,990万円	25,220円
(3)繰出金	23億8,734万円	29,229円
(4)普通建設事業費	8億102万円	9,807円
4 その他のコスト	7億4,894万円	9,170円
(1)災害復旧事業費	48万円	6円
(2)失業対策事業費	0万円	0円
(3)公債費(利子分のみ)	6億7,458万円	8,259円
(4)債務負担行為繰入	0万円	0円
(5)不納欠損額	7,388万円	905円
<b>行政コスト</b>	<b>239億8,847万円</b>	<b>293,696円</b>

### 【収入項目】

項目	総額	市民1人当たり
1 使用料・手数料等	26億618万円	31,908円
2 国庫(県支出金)	22億4,604万円	27,499円
3 一般財源	167億5,523万円	205,137円
<b>収入</b>	<b>216億745万円</b>	<b>264,544円</b>



#### ○行政コストの内容

「人にかかるコスト」

行政サービスの担い手である職員に要するもの。

「物にかかるコスト」

蒲郡市が最終消費者になっているもの。

「移転支出的なコスト」

市民の皆さんを対象にして支出することにより効果が生じるようなもの。

「その他のコスト」

右記に属さないもので、市の借入金である市債のうち、利子分など。

#### ○収入項目の内容

行政コストがどのような収入によって賄われているかを示します。

「使用料・手数料等」

公共施設を利用する場合や住民票などの発行のときに負担していただく料金など。

「国庫(県)支出金」

国や県の補助金などから、施設・道路整備など資産形成に充てたものを除いた分。

「一般財源」

市税(市民税、固定資産税など)をはじめ、地方交付税など。